

競技規則テスト 2017. 10. 28

(作成：大平秀明)

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| ◇第1条 競技のフィールド | 第10条 () |
| 第2条 ボール | 第11条 オフサイド |
| 第3条 () | 第12条 () |
| 第4条 競技者の用具 | 第13条 フリーキック |
| 第5条 主審 | 第14条 () |
| 第6条 () | 第15条 スローイン |
| 第7条 試合時間 | 第16条 ゴールキック |
| 第8条 プレーの開始および再開 | 第17条 () |
| 第9条 ボールインプレーおよび ボールアウトオブプレー | |

◇第3条について

- ①試合は、11人以下の競技者からなる2つのチームによって行われる。1人はゴールキーパーである。いずれかのチームが()の場合、試合は開始も()もされない。
- ②交代要員の氏名は、試合開始前に主審に届けられていなければならない。それまでに氏名が届けられていない交代要員は試合に()。
交代要員は、()、プレーの再開に参加できる。

◇第4条について

- ①すべての() (ネックレス、指輪、ブレスレット、イヤリング、皮革でできたバンド、ゴムでできたバンドなど)は禁止されており、() 装身具をテープで覆うことは()。
- ②アンダーシャツは、シャツの()と同じでなければならない。アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、()でなければならない。() 競技者が着用する場合、同色のものとする。

◇第5条について

- ①主審は()を施行する。
- ②()を務め、また試合の記録を取り、関係機関に()を提出する。
- ③同時に2つ以上の反則が起きたときには罰則、負傷のひどさ、戦術的影響の面から、()。
- ④競技者が重傷を負った場合、プレーを()し、確実にその競技者をフィールドから退出させる。退出する要件について、次の場合のみ例外とする。
 - ・ゴールキーパーが負傷したとき
 - ・ゴールキーパーとフィールドプレーヤーが衝突し、対応が必要なとき
 - ・()が衝突し、対応が必要なとき
 - ・重篤な負傷が発生したとき
 - ・相手競技者が()される、または()を命じられるような()反則の結果として競技者が負傷したが、負傷の程度の判断と治療が()できるとき

◇第6条について

副審は次のときに合図をする

_____ 罰せられるとき

・競技者の交代が要求されているとき

_____ 追加副審が任命された場合、
副審はペナルティマークの _____ に位置する。

◇第8条について

キックオフ

- ・()を除いて、すべての競技者はフィールドの自分たちのハーフの中にいなければならない。
- ・ボールはセンターマーク上に()していなければならない。
- ・ボールは、()インプレーになる。
- ・他の競技者がボールに触れる前にキッカーが再びボールに触れた場合()が与えられる。

ドロップボール

- ・ドロップされたボールがグラウンドに触れる前に競技者がボールに触れた場合()となる。
- ・ドロップされたボールが()に触れることなく、相手競技者のゴールに入った場合はゴールキックとなる。

◇第10条について【試合後のペナルティーマークからのキック】

- ・主審は、その他に考慮すべきこと(グラウンド状態、安全など)がない限り()して()を決定する。ゴールは安全上の理由やフィールドの表面が使用できなくなった場合に限り変えることができる。
- ・ペナルティーマークからのキックを行う前、()に、一方のチームの競技者数が相手チームより多い場合、競技者数を()、除外する競技者の氏名を主審に通知する。

◇第11条について

①競技者は、次の場合オフサイドポジションにいることになる：

- ・頭、()、または足の一部でも、相手競技者のハーフ内にある()を除く)

②競技者が次のことからボールを直接受けたとき、反則にならない：

- ・ゴールキック、()、()

◇第12条について

競技者が次の反則のいずれかを不用意に、無謀に、過剰な力で犯したと主審が判断した場合、直接フリーキックが与えられる。

- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____ ()
- ・ _____
- ・ _____

競技者が次の反則のいずれかを犯した場合、直接フリーキックが与えられる。

- ・ _____ ()を除く)
- ・相手競技者を押さえる
- ・ _____
- ・相手競技者につばを吐く

第12条

「不用意とは」

「無謀とは」

「過剰な力とは」

◇第14条について

ペナルティーキックが行われる場合、ゴールキーパーはボールが蹴られるまで、キッカーに面して両ゴールポストの間のゴールライン上にいなければならない。キッカーとゴールキーパー以外の競技者は、次のように位置しなければならない。

- ・()
- ・()
- ・()
- ・()

ペナルティーキックのとき、次のようなことが起きたらどのように対応するか？

・「攻撃側競技者が、ボールを後方にヒールキックして、別の競技者がペナルティーエリアの外から勢いよくロングシュートを決めた。」

・「主審の合図の後、ボールが蹴られる前にゴールキーパーが少しだけ（1歩）前方に出た。キッカーのミスキックで、ボールはゴールを外れた。」

◇ボールがインプレー中に、次のようなことが起きた場合、主審はどのように対処しますか？

（再開方法も含めて書きなさい）

- ①「守備側DF②番と攻撃側FW⑨番が、プレーの一貫としてゴールラインの外側に出た。フィールドに急いで戻ろうとしたFW⑨のユニフォームを、DF②番が不用意に引っ張り、転倒させた。場所はゴールポストから15.5m左側であった。」
- ②「ペナルティーエリア内、攻撃側FW⑩番と守備側GKが1対1の状況。後方から走って追いついたDF③番が、FW⑩の背中を後方から押して倒した。」
- ③「ボールがインプレー中に守備側競技者が自陣ペナルティーエリア内で、主審の判定に対して文句を言いながら、主審を殴った。」
- ④「観客の声を主審の笛と勘違いして、守備側競技者がゴールエリア内でボールを止めてしまった。」
- ⑤「間接フリーキックで主審が片手を上げるのを忘れてしまった。攻撃側はクイックでフリーキックを行い、ボールはそのまま直接ゴールに入った。」
- ⑥「相手側チームのスローインが、風によってGK頭上を越え直接ゴールに入りそうだった（ペナルティーエリア内）ので、守備側DF④番が手で止めた。ボールはゴールから外れた。」
- ⑦「試合が同点で、ペナルティーマークからのキックのとき、11人が終了しても同点であった。一方のチームから『2順目は、蹴る順番を変えたい』申し出があった。その際、他方のチームキャプテンから『そんなの有り得ない』と主審に対して必要以上に抗議してきた。」

